

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-2-87	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山野	95	4.2		ed	「最高レベルは殺菌と呼ばれる様々な消毒レベルが規定されている」 →読者にとってわかりにくい表現ではないでしょうか？	一例として： 「最高レベルである殺菌を含む様々な消毒レベルが規定されている」 IEC の原文では“with the highest level called sterilization”の“with”は「含む」を意味すると考えて良いと思います。	ご提案の通り、“最高レベルである殺菌を含む様々な消毒レベルが規定されている”と修正いたします。
山野	131 - 132	5.2		ed	「しかし、185 nm のスペクトル線は、ランプによってオゾンが生成されないように、特定のガラスによって遮断される」 →初見の読者にとってわかりにくい文章ではないでしょうか？	一例として： 「しかし、オゾンが生成されないように、特定のガラスによって 185 nm のスペクトル線を遮断する」	注記なので、要求事項の表現「～する。」を避けて、“しかし、特定のガラスで 185 nm のスペクトル線を遮断することによって、オゾンは発生しない”と修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C8513	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	1018	附属書 JA	6.5.2 b)2)		本文中に点線下線が引かれているが、対比表に記載は不要か？		「外部ショートによって、試験電池の表面の温度が 55℃以上になることがある。」が当該の記載です。 対比表は JIS と国際規格との構成の違い又は技術的差異の内容が容易に比較できるように記載しました。当該箇所は技術差異のない補足情報の追加であって、構成を変えてもいないので、対比表には含めていません。
加藤	1018	附属書 JA	D.3 a)		本文中に点線下線が引かれているが、対比表に記載は不要か？（附属書 D は参考のため、不要？）		ご指摘の通り、参考の附属書の当該の補足情報については、技術差異のない記載として、また、構成を変えていないので、対比表には含めていません。
西原	33	3.7A		ed	「平行六面体に収まる・・・」旧規定は「断面が円形でない素電池又は電池」になっていて、改正案はより限定的な規定は妥当なのか	「平行六面体」が必要な記載が不明ですが、「断面が円形でない素電池又は電池」の方が広く規定される感じがします。	・ 対応国際規格では、“prismatic cell, prismatic battery”の説明に、“parallelepiped”「平行六面体」という表現が用いられています。対応国際規格と整合を取る観点から、今回の改正で「平行六面体」を使用する事としました。 ・ 注釈 1 にある通り、JIS C 8515 に規定されている電池区分 6 の様な電池を指しています。 「平行六面体」と定義で記載

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C8513	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<p>することで、6.5.7 b) 1の「6面」の記述に対し、試験で図 4 b) の落下方向をイメージしやすくなると考えます。</p> <p>ご提案の通り「平行六面体に収まる形状」を削除することで「非円形電池」を広く定義することも可能ですが、上記理由から、「平行六面体に収まる形状」は残して頂きたいと考えます。</p>
山野			表 5	ed	<p>記号説明の中で、 クロスオーバー周波数/ 及び 加速度/ →初見の人は“/”を演算記号（割り算）と誤解する可能性があるのではないのでしょうか？（よく見るとそんなことはないのですが。）</p>	<p>“/”のかわりに改行するか” ; ”にするとより誤解が少なくなると思いますが。判断はお任せします。</p>	<p>JIS では区切り符号に “ ; ” は用いないため、次のように改行いたします。</p> <p>f_2, f_3 : クロスオーバー周波数 $f_2 \doteq 17.62 \text{ Hz}$ $f_3 \doteq 49.84 \text{ Hz}$ (素電池又は電池), 24.92 Hz (大型素電池又は大型電池) a_1, a_2 : 加速度 $a_2 = 8 g_n$ (素電池又は電池) $a_2 = 2 g_n$ (大型素電池又は大型電池)</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-3-1	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
西原	126	4.2.2		ed	「赤外線放射」と記載されているが、報告書の(2)規定項目又は改正点8行目では「赤外放射」と記載されている。	「赤外線放射」に統一した方が良い。	全て“赤外線放射”に統一します。
西原	109	4.2.1		ed	「そのため、熱い空気は、冷たい空気よりも熱伝導が低くなる」。前段の記載からすると「同じ風速」が条件だと思います。	そのため、 <u>同じ風速</u> であれば熱い空気は、冷たい空気よりも熱電動が低くなる。～この方が分かりやすいと思います。	このままとします。ご提案は尤もなのですが、密度のところに“同じ風速であれば”を追記すると、風速のところにも“同じ密度であれば”を追記が必要となり、説明が冗長となるため。
西原	120			ed	単位票免責あたりの放熱：15kW/m ² 。旧規定では、1.5kW/m ² になっている。	誤記であれば修正する。	誤記のため、修正します。 (図面トレース時に“.”が抜けたため。こちらのチェックミス)
山野	84	4.1.3		ed	「供試品表面のある点の温度変化は」 → “ある点”は特定の点を意味することもあるので、より明確な表現にした方が良い。	たとえば； 「任意の点の温度の時間的变化は」	“ある点”のままとします。ここは供試品の温度に関する一般的な解説であり、規定事項のような厳密な表現は不要のため（特定でも、任意でも構わない）。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。